

# 予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：女性保護費 目：女性保護費

## 事業名 DV 防止等普及啓発事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

子ども・女性部男女共同参画推進課 男女共同参画係 電話番号：058-272-1111(内3574)

E-mail：c11234@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 650 千円 (前年度予算額： 650 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	650	0	0	0	0	0	0	0	650
要求額	650	0	0	0	0	0	0	0	650
決定額									

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

DVの未然防止に対する県民の意識高揚を図るため、各地域で行われる会合や高校・大学等へ専門講師を派遣することにより、DVの正しい知識を普及する。

### (2) 事業内容

#### ①一般県民に対する啓発

・目 的：県民各層のDVに対する理解促進を図り、被害の早期発見、早期相談を促し、被害の潜在化・深刻化を防ぐ。

・派遣先：自治会やPTAなど地域で開催される会合（予定：2回）

#### ②若年層に対する啓発

・目 的：若者に対し、DVに関する正しい知識を啓発することで、DVが犯罪であることの意識を醸成し、暴力の未然防止を図る。

・派遣先：県内高等学校、大学等教育機関、県内中学校（予定：15回）

#### ③性暴力被害者支援に関する啓発

・目 的：性暴力については若年層からの相談が多い事もあり、若者に対し、性暴力に関する正しい知識を啓発し、被害に遭った場合の窓口を周知すると共に、未然防止を図る。

(予定：3回)

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10 / 10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	400	講師謝金
旅費	68	費用弁償、業務旅費
需用費	99	コピー代、啓発用リーフレット
役務費	83	リーフレット発送費用
合計	650	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・岐阜県男女共同参画計画（第5次）
  - ・岐阜県配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等並びに困難な問題を抱える女性への支援のための基本計画
- 第3章 施策の柱Ⅰ 暴力を許さない社会づくり

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

配偶者や恋人など親密な間柄にある関係の暴力防止に向けた普及啓発活動を推進し、被害の予防や早期の相談につなげる。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2～R4)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①DV予防教育の 受講者数（累 計）	10,089	1,154	6,000	9,000	15,000	—
②						

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<p>講師派遣については、毎年多くの団体等から派遣希望があり、平成28年度からは、中学・高校・大学その他、特別支援学校からの応募もある。次代を担う若者に対する予防教育としてDV啓発が図られることにより、DV被害の未然防止、早期発見に寄与している。</p> <p>令和4年度は、10校 2,246人が受講 10校は、大学等2校、高等学校3校、中学校4校、特別支援学校1校</p> <p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p>
令和5年度	<p>令和5年度は、10校3団体 1,132人が受講 10校は、大学等1校、高等学校2校、中学校6校、特別支援学校1校</p> <p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p>
令和6年度	<p>令和6年度は、10校1団体 1,154人が受講 10校は、大学等3校、高等学校2校、中学校4校、特別支援学校1校</p> <p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<b>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)</b> 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	県配偶者暴力相談支援センターへのDV相談は高止まりの状況にあり、さらなるDVに関する正しい知識の普及啓発や相談機関の周知を図る必要がある。
<b>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)</b> 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	受講した生徒等を対象に行ったアンケートでは、「自身が加害者にも被害者にもなりうるので気を付けたい」、「DVだと認識していなかったような行為もDVであることが初めて分かった」などの回答が多く寄せられており、暴力の未然防止のための意識づけが図られている。
<b>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)</b> 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	地域の会合や教育機関の講義の機会を利用して実施するなど、効率的に実施している。

### (今後の課題)

<b>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</b> デートDVは低年齢化している傾向があり、未然防止の観点からも、より早期からの予防教育について検討していく必要がある。 性暴力被害においても、若年層の被害に関する相談が多い。未然防止及び相談窓口の一層の周知について検討の必要がある。
--

### (次年度の方向性)

<b>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</b> 令和6年3月に策定した「岐阜県配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等並びに困難な問題を抱える女性への支援のための基本計画」(計画期間R6～R10)では、若年者に向けた啓発をさらに推進することとしており、従来から実施している若年層向けの講師派遣事業を継続して実施していく。
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	【〇〇課】